

第2回滝沢市文化財調査委員会議 議事録

令和元年12月6日(金) 滝沢市役所2階 201会議室

【会議内容】進行:(事務局)小野雅悌 文化振興課長

開始時刻14時

発言者	内容
(事務局) 小野課長	<p>本日の会議は、委員5名中4名のご出席を頂いております。 滝沢市文化財調査委員会議運営規則第3条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しておりますので、本日の会議が成立することをご報告申し上げます。</p> <p>それでは、ただ今から、令和元年度の第2回滝沢市文化財調査委員会議を開催いたします。 会議に先立ちまして教育長 熊谷雅英よりご挨拶申し上げます。</p>
熊谷教育長 (挨拶)	<p>寒い中、現地調査をしていただきありがとうございました。 本州を直撃した台風19号により、田村神社の杉の一部の枝が折れるという被害があり、氏子さんが速やかに枝の伐採をしました。そこで市では何かお手伝いできないか、災害の文化財の復旧に心配のところでもあります。今後とも災害の際は迅速な対応を心がけたいと思います。</p> <p>後半は、民具整理の整備したところを見ていただきました。市民の皆様も関心が高く要望をうけているところです。前委員長の名久井先生が整理して、ふるさと交流館倉庫にあったものを、ビッググループができたことにより、空きがでた公民館へ持って来て運んできたものです。市民の皆さんに早くご覧いただけるよう、この前よりも意見いただきたく思います。名久井先生にも見ていただき、ちゃんとした形で報告したいと考えております。</p> <p>カワシンジュガイ生息調査や、12月7日には埋文主催講座があり、文化財行政掘り起し等ハードと、ソフト面で取り組んでいるところです。今日は忌憚のない意見、指導をいただきたいと思っております。</p> <p>前委員長である四井先生が、春の叙勲において瑞宝章いただきました。縁あって私が、代表発起人となりグランドホテルで、表彰をお祝いしたところでありましたので、合わせて報告します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>

<p>(事務局) 小野課長</p>	<p>それでは、議事に入ります前に「会議録署名委員の指名」ですが、前回は、松本委員にお願いしておりました。署名は委員長と委員1名の署名となりますことから、今回は、平塚委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>会議録署名は会議録作成後に日程調整の上、事務局がお伺いいたしますので、よろしくお伺いいたします。</p> <p>それでは、これからの進行は、文化財調査委員会議運営規則に従い、光井委員長にお願いします。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>専門性を生かし、いろいろな意見を提言し、実りの良いものにしたいと思います。報告第1号令和元年度 滝沢市文化財事業の進捗状況について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>(事務局) 菅波主任</p>	<p>(文化財関係 資料に基づき説明)</p>
<p>(事務局) 井上主任主査</p>	<p>(埋蔵文化財関係 資料に基づき説明)</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>この件について、ご質問やご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>(委員) 上白石委員</p>	<p>カワシンジュガイ生息数が、4, 5回目の調査が他の調査に比べて生息数が少ない。そのことを確認したのでしょうか。それとも別の理由でしょうか。</p>
<p>(事務局) 井上主任主査</p>	<p>芋桶沢全体の調査を実施しました。沢の下流から順にやっていたら良かったですが、今回できるところから始めていきましたので、住宅地から離れると多く、沢の下流が少ない傾向にあります。</p>
<p>(委員) 上白石委員</p>	<p>3万とか5万の数字は、素人には多い数だと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
<p>(事務局) 井上主任主査</p>	<p>同行していただいた渡辺先生にカウントしていただいたのですが、だいたい簡略化して数えているため、これ以上の数も想定できます。滝沢では芋桶沢、相の沢が県内でも有数の生息地だとの評価をいただいています。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>生息域には若い個体と年寄りの個体がいるのですか。</p>

<p>(事務局) 井上主任主査</p>	<p>芋桶沢には若い世代がいましたので、渡辺先生は今後も期待できる生息地だと言っていました。相の沢あたりは幼貝が、芋桶沢にも数多く幼貝がおり、貴重性があり生息は今後も期待できるとおもわれます。</p>
<p>(委員) 平塚委員</p>	<p>カワシンジュガイについては県下で最大の生息域だと思われます。いっきに県の指定文化財を目指してもいいのではと思われます。市としての今後のスケジュールについて伺いたい。</p> <p>というのは、県下で最大なのですが、心配な面もある。つまり、老齢、大型個体、弱年、小型個体まで、きれいにそろっている沢もあるけど、そうじゃない沢もあるので、まったく安心という状況ではない。この貴重な資源を保存してもらいたいので、市として今後の予定をどうするのか、教えていただきたいです。</p>
<p>(事務局) 井上主任主査</p>	<p>野外調査は今年度で終了し、渡辺先生の分布調査の成果を報告書にまとめます。その基本的なものが令和2年にできる予定です。令和3年には印刷・製本になるかもしれません。指定はそれ以降になりますが、市としてはカワシンジュガイを天然記念物文化財指定として答申したいと考えております。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>平塚先生がお話したように市指定ではなく、県指定としてのスケジュールはどうですか。</p>
<p>(事務局) 井上主任主査</p>	<p>県からの指定の動きはみえてきていません。チョウセンアカシジミの話も進んでいないので、とりあえず県は県、市は市で指定を行う予定です。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>試掘調査の基準についてお聞きします。試掘の調査面積の割合はどのくらいですか。また、隣接はどのように調査していますか。</p>
<p>(事務局) 井上主任主査</p>	<p>包蔵地内は近接含め、全て基礎工事立ち合い調査を実施しています。広い場合は重機を使用した試掘を行っています。試掘面積の割合は、だいたい5,000平米だと1,000平米で、トレンチ3,4本の調査です。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>高柳遺跡は盛土ですか。</p>

(事務局) 井上主任主査	住宅会社に、盛土で壊すなど試掘指導しています。
(委員長) 光井委員長	他の20件は何も出なかったのですか。試掘の記録は、とってありますか。
(事務局) 井上主任主査	とってあります。面積が広いと事前に試掘します。今年の立ち合いは、約20件で何も出土しませんでした。
(委員長) 光井委員長	小学校の埋蔵文化財センター見学のご感想と成果をお聞かせください。
(事務局) 井上主任主査	滝沢東小学校には、長期にわたってきてもらっています。柳沢、姥屋敷小学校は、今回初めてきてもらいました。高学年になると日本史、歴史を学ぶ上でいいのではないかと思います。3年生くらいから地域の歴史を知るカリキュラムがあり、姥屋敷のように全学年きてもらうと高学年の子が低学年の子に説明を行ったり、公園で遊ばせることもできたりするので、小学生にとっては良い気分転換になり、生の資料を見て勉強になると思います。 ただし、バスなど、センターまで来る移動の問題はあります。
(委員長) 光井委員長	ぜひ小学生に本物を見せて、見学を続けてほしいと思います。
(委員) 上白石委員	去年は、中学・高校もきたと思いますが。
(事務局) 井上主任主査	見学だと中学生はあまり来ていません。中学生だと職場体験来ていただいております。
(委員) 上白石委員	遺跡を見て地域の特性を知ってもらえる機会として、中高生にも見学してもらう努力していただければと思います。
(事務局) 小野課長	去年は北高の先生自体が興味ある方でした。次の代にも話してもらうようにすれば、いいと思います。 小学校は子供会もあり、利用者数が多くなりやすいです。

(事務局) 井上主任主査	話は頂いていましたが、今年は選挙従事も重なり、難しかったです。
(委員) 平塚委員	国立博物館で大縄文展が開催され、縄文ブームでメディアで多くの情報が流れましたが、その影響はありましたか。岩手日報で佐倉の国立歴史民俗博物館で展示に滝沢の環状列石が使用されているとの記事がありましたが、全国的な縄文ブームに連動した動きでの来館者の関心などはありましたか。
(事務局) 井上主任主査	来館者は、なかなか急に増えるものではありませんが、今年は関東から明治大学博物館でボランティアしていた方がじっくり見ていき、何人かは興味ある人が増えていると思います。
(委員長) 光井委員長	報道あっても地元の見学者は増えませんか。
(事務局) 井上主任主査	そんなに急には増えません。でも、関心ある方は何人かきています。
(委員) 平塚委員	高速から降りてすぐの場所にあるので、今後、北東北の縄文遺跡が世界遺産になれば、少しは見学者が増えるのでは。
(事務局) 井上主任主査	確かに、今でも御所野遺跡や是川遺跡見学ついでに寄ったという人も来ています。
(委員長) 光井委員長	色々宣伝してぜひ本物を見てもらい、滝沢の情報を発信してもらいたいものです。
(事務局) 熊谷教育長	<p>バス代が高騰しているうえ、部活や行事でバス使用することもあります。職場体験も2～3日かけ行われます。学校では日程をとられるので、なかなか学校現場で時間がなく、小学校では子供会や色々な形でセンターを見学してもらっている現状もあります。</p> <p>そんななか11月5日アピオで全国伝統工芸大会があり、滝沢の全小中高生1,800人が平日のお客さんが少ない日に見ることができました。</p> <p>チャンスあればセンターにも、滝沢市内の小中学生にぜひ、いろいろな形で見学していただきたいと思っております。</p>

<p>(事務局) 菅波主任</p>	<p>(報告第2号 民具の展示について 資料に基づき説明)</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>この件について、ご質問やご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>(委員) 越谷委員</p>	<p>棚について針金固定で大丈夫か心配です。壁から離れて立てると安定が悪く、展示している物が落下する危険があるので、どのような対策を考えているのか。</p> <p>名久井先生が作られた詳細な目録が資料ベースになるかと思いますが、教育長さんがお話したように、資料をデジタル化するのは有意義かなと思います。保存、展示のためにも早く進めることが大事かなと思います。例えば、小学生に誰が説明するのか。何かわかるのか。展示している民具をどう動かすのか、どのように使用するのか、が理解できる説明等を検討していただきたい。</p>
<p>(事務局) 小野課長</p>	<p>強度についてですが、棚は高かったので、下の面を低くし、床に密着させました。補強として壁からステンレスワイヤーで、設置している段階です。</p> <p>次に展示の方法ですが、表示の仕方や方法等ですが、使用方法については表示したいと思っております。もう一つは使い方ですが、地元の人のお話を聞きながら、解説を作ることを考えています。それから、子供が見学に来た時に実際、使ってみたいと思っておりますので、そのようなことを検討しながら、展示していきたいと思っております。</p>
<p>(委員) 越谷委員</p>	<p>本棚は、壁設置でないとおっさり倒れます。棚に食器や重いものを展示すると落ちる可能性があるので、慎重に対処した方がいいと思われます。</p>
<p>(事務局) 小野課長</p>	<p>平らな棚は、枠をつけました。それに台をかぶせ、展示物は両面テープでおさえる。高さがあり軽いものは、当然動く認識はしています。</p>
<p>(委員) 上白石委員</p>	<p>何らかの表示パネル、解説書は作る計画があるとは思いますが、その時はぜひ小学生主体でやってほしい。生徒が「これ何」と疑問もち、次にどう使うのかを確認するような展示にしていきたい。大変かもしれませんが、考えて欲しいです。</p>
<p>(事務局) 小野課長</p>	<p>子供の立場や、先生達のお話を聞きながら意見を聞いて展示を検討していきたいです。</p>

<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>小学生が自分たちで疑問や発見が出来るような展示にして欲しい。私の方から、動的な動き、いつの時代にしぼるか、お聞かせください。</p>
<p>(事務局) 菅波主任</p>	<p>小学生が、これはどう動くのか、どう使うのか、体験できればいいのですが、動かせる民具が少ないので、どのように使い方を見せるかは、今後の表示の方法も含めて考えて行きたいと思っております。</p> <p>時代については、今のところあるもの全て台帳整理基本に並べてみてからになる。時代変わりながら、近代化していく民具もありますので、形が変化していくのを並べて、展示していきたいと考えています。</p>
<p>(事務局) 小野課長</p>	<p>名久井先生が整理した段階で欠落している時代がありますので、欠落している時代については考えていかなければならないと思っております。</p>
<p>(事務局) 熊谷教育長</p>	<p>芸術祭があり土日も仕事ある中で、スタッフ数名でやっています。よくまとめてもらって今日に合わせて展示を見せられるところまで来たと思っております。</p> <p>皆さんからいろいろな意見が出されると思います。それを受け止めて、今後の展示に生かしていきたいと思っております。小学生が見て、疑問を持ちながら、見学していただきたいと思っておりますし、動的にも体験しながら見てもらいたい。時代もいつ頃かわかるようにしていきたい。</p> <p>また会議等でいろいろと意見を言っていただきながら、いい展示にしていきたいと思っております。</p> <p>私たちは、この場所を民具庫として位置付けて、多くの市民に公開をしていきます。ただし、常設でなく電話いただいたら時間を限り開放していく形で公開したい。また、ボランティアを募り、解説していただくことも考えています。多くの方々の意見を聞きながらより良い展示にして行きたいと思っております。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>前回の会議で見た時より、進んでおり、頑張ったと思っております。これからも、皆さんの意見を聞きながら、展示準備をしていただきたいと思っております。</p>
<p>(事務局) 菅波主任</p>	<p>(報告第3号 台風19号による文化財の被害状況について 資料に基づき説明)</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>田村神社のスギは市指定ということで、氏子さんたちの負担が重くのしかかるということで、皆さんから意見を頂戴したいと思います。</p> <p>この件について、ご質問やご意見等ありますでしょうか。</p>

<p>(委員) 平塚委員</p>	<p>前に樹木医さんに診ていただいているとは思いますが、今日、私が改めて拝見し、立派な木だと思いました。</p> <p>スギとカツラの空洞化は全然違います。切り跡の写真を見て、かなり表面までウロが来ている。外から見た目以上に危ない気がします。</p> <p>表面まで主幹50%以上空洞化とは、外側からスキャンしたのですか。どうやってわかったかについてお聞きしたいです。</p>
<p>(事務局) 小野課長</p>	<p>平成23、24年の小岩井農牧の樹木医の齋藤さんに調査をいただき、その調査の結果だと思えます。X線の調査をふまえた上で、50%を超えているとのことでした。生きてはいますが、保存・高所管理は難しいと意見を頂いています。氏子さんの方で、文化財指定解除して切りたいということですが、スギとカツラの両方を切ると300万円位かかる。</p> <p>費用は所有者管理ということですので、補助金の相談を受けましたが、該当する補助金はないとご返事しています。</p>
<p>(委員) 平塚委員</p>	<p>カツラの木が周りを抱きこむようになっているので、驚きました。カツラは空洞化しているのですが、その内側に抱き込むようになっているので、延命できそうですので、スギとは状況違うと思えます。</p> <p>指定を解除して倒木することは、どれだけ切実なのですか。</p>
<p>(事務局) 小野課長</p>	<p>伐採については、数年前から相談がありました。指定文化財になっているので、これを解除してから倒木したいと氏子さんから話がありました。</p> <p>ただし、スギの木だけでも150万円かかるので、負担を考えて、解除したから、すぐ切るという話ではない。お金の目途がたって、切るとなってから解除してもいいのではないかと考えています。</p>
<p>(事務局) 熊谷教育長</p>	<p>解除については、この会議で判断するのですか。</p>
<p>(事務局) 小野課長</p>	<p>その通りです。</p>
<p>(委員長) 光井委員長</p>	<p>樹木医の判断でより延命させる方法はないのですか。</p>
<p>(事務局) 小野課長</p>	<p>小岩井農牧の齋藤さんには、無料で相談をしているのですが、状況的には変化は無いが、調査した時点からは進行しているとお話はされています。延命するのは難しいとの判断もいただいています。</p>

<p>(委員) 平塚委員</p>	<p>ウロそのものは削って、消毒すればいい。セメント注入ですが、あの大きさになると、その重さだけで、かなりの重量になるので、延命策は極めて難しい。 お金も手間も技術的にも大変だと思われます。</p>
<p>(事務局) 小野課長</p>	<p>平成23・24年の調査の時に、刈払いもしています。今回、一番心配だった上の枝が折れて、それが撤去出来ました。また、周りに民家もあるので、平成25年に所有者に保険を掛けて欲しいと要望したので、氏子さんの方では保険に掛けています。</p>
<p>(事務局) 熊谷教育長</p>	<p>市の指定がなされているので、自分たちが倒木できなかつたということで、話が進んでいるわけではない。指定されていなくても管理者の方に責任があるということです。</p>
<p>(事務局) 小野課長</p>	<p>指定文化財になっているので、現状変更の場合は届出が必要となります。指定、指定外にかかわらず、自分達の土地にある樹木の管理は必要となります。伐採ということで予算の目途がついたのであれば、教育委員会に相談いただければ、事務手続きについては対処しますとお話しています。 氏さんの立場からいうと、一番心配なのが、お金の負担です。1本伐採でも150万円以上かかり、作業の重機も入りにくいので、入るためには畑の賃借料も必要になります。 お金の捻出は本人負担となり、市で負担できないと、また話が戻ってしまうので、難しい。</p>
<p>(委員) 上白石委員</p>	<p>教えて下さい。今回の件は、住民の意見も聞かなければならないと思うのですが、氏子総代だけで決めていいのですか。氏子総代は、あの周辺の集落の住民が入っているのですか。</p>
<p>(事務局) 長嶺次長</p>	<p>私は篠木なので地元でわかるところから言いますと、氏子総代役員3名、普通の氏子10～15名になるかと思います。田村神社は篠木地域の氏神様と昔から言われておりまして、篠木地域からは、各地域ごとに氏子総代が出ている形になっております。</p>
<p>(委員) 上白石委員</p>	<p>氏子さんたちは篠木地域を網羅できる形ですね。</p>
<p>(事務局) 小野課長</p>	<p>地域の代表の方々が構成員となっています。</p>

(委員長) 光井委員長	その他ご意見、ご質問なければ終わりたいと思います。お疲れさまでした。
(事務局) 小野課長	これで第2回滝沢市文化財調査委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。

閉会時刻 15時00分